

## 徳山の東京地名めぐり

会員 西村修一

はじめに

令和元年十月五日の例会発表にて「徳山の東京類似地名」のテーマで研究発表をしました。その内容は、「徳山地方郷土史研究 第四一号」「徳山の東京類似地名」にまとめてあります。包括的にとり上げ、新調査・新情報も含めて、分析し結論的なものを提示することができたと思っています。かつ未来提言もしました。

十月十日の「日刊新周南」にて、一面トップカラー、二面通しで、大きく取り上げられました（実は、この記事をきっかけに、貴重な情報提供がありました。後述）。

ちょうど当会が創立四十周年を迎えた年でしたが、創

設の神本<sup>まさのり</sup>正律会長への頃にはすでに都市伝説化しており、啓蒙されてきたようです。特に小川宣会長は、冊子の中で言及され、「徳山の東京地名」研究の基本的な助けとなつています。ただ、本格的にこれに取り組んだ方はおられませんでした。

未だ都市伝説の中におられる方がほとんどで、うかつに文章にされている方も散見されます。徳山地方郷土史研究会としての使命感を痛感しました。

新時代を迎えた〈徳山の東京地名〉研究

平成十五年（二〇〇三）に周南市が誕生して、情報化

時代にも突入し、〈徳山の東京地名〉研究は新たなステージを迎えました。メディアに、特に東京のTV局やネット系情報誌にとり上げられるようになり、東京視点・県外目線になりました。徳山の東京地名のほが、周南市レベルにまで拡張され（特に旧新南陽市の地名がエントリ一してきました）、「横浜」や「川崎」といった、東京地名が首都圏目線で採り上げられるようになり、かなりフアジーになってきました。町名・自治会名（田園調布）・字名（五反田）の区別もなく、かつ町名でないもの（代々木公園・晴海ふ頭）も指摘されるようになりました。戦後復興の区画整理に伴う新町命名という時間的な大前提も曖昧になり、産業発展時代に誕生した新しい東京類似地名なども一緒になっています。もちろん、空襲を受けなかった市街地以外も対象になっており、されど〈徳山以外の町名及び戦後復興計画による町名命名以外は取り扱いません〉と言う訳にはいかず、地元の郷土史会として対応していかなければならない運命を痛感しました。

\*「日刊新周南」二〇一九年十月十日の記事は図書館及びネットでは新周南新聞社ホームページ「ヘッドラインニュース」で見ることが出来ます。また「Jネットタウン東京」〈全国ネット情報配信サービス（二〇一九年九月二二日配信）も検索閲覧可能です。それまでメディアで紹介されたり、ネットにアップされたものがいくつかありますが、写真が今では存在しない古いものであったり、かつ説明が不正確、不十分です。

周南市は、徳山駅前図書館、庁舎とリニューアルされ、工場夜景クルージングやツリーまつりなど観光において新ジャンルに勢いがあります。ポランティアガイドによる案内は今は、徳山藩関連のオーソドックスなものに留まっています。それらを意識して、研究発表とセットにして、実際に徳山の東京地名をめぐってみて表示体を紹介するというウォーキングイベント「徳山の東京地名めぐり」にチャレンジしてみました。

本稿は、令和元年度の例会発表をきっかけに、非常に貴重な証言や提供された新情報が集集でき、「徳山の東京地名」研究は佳境に入ってきました。おさらいも含

め、インスタ時代に対応すべく表示体も併せて紹介しながら、一つずつ丁寧に解説していきます。研究の深化やより進化した分析結果に驚かれると思います。

### 〈徳山の東京地名〉研究の新展開

基本的なところを、おさらいします。

戦前に海軍燃料廠があった徳山は、米軍の空爆・空襲目標となっていました（元徳山高専工藤洋三教授の資料による）。昭和二十年（一九四五）七月二七日の徳山空襲によって市街のほとんどを消失しました。その後、都市復興計画として区画整理がなされ、新しい町名を決めることになって、昭和二七年に、市長を会長とし学識経験者などからなる「徳山市町名地番整理調整委員会」が設置され、自治会を中心にして新しい町名が命名されました。

この時期に、東京類似地名が偶然に揃いました（銀座「新宿通」「有楽町」「代々木通」「御幸通」「昭和通」。徳山の産業化時代にも東京類似地名が足されていき（千代田「原宿」「青山」、都市伝説）はさらにパワーアップした

感があります。現在は、字名、自治会名、ふ頭名も一緒になった（晴海ふ頭「田園調布」混沌のステージです。整理の必要なタイミングです。

「徳山の東京地名」を三種類に仕分けしたいと思います。

①戦後の都市復興計画に伴う、昭和二七年の徳山市町名地番整理調整委員会設置による、各自治会による新町名命名。

②第二ジェネレーションと言うべき、産業発展期の新たな町名の誕生（千代田、青山、原宿、田園調布（自治会名）、晴海ふ頭（埠頭名）→町名に限定しなくなる）

③徳山市街外の昔からある町名（上野、横浜、川崎→首都圏目線となる）

○「銀座」（表示体・バス停、商店名、住所表示板）

昭和十年の徳山市制記念の写真に、ノボリか立て看板か複数「銀座街」と見え、幸町のすずらん街灯が見えます。徳山一番の繁華街は市制誕生の祝賀に合わせて飾り

つけをされています。東京の銀座は戦前が全盛期で、昭和初期にはアール・デコの影響を受けたモダンボーイやモダンガールと呼ばれる人々が銀座を歩く「銀ブラ」が全盛を極め、その銀座の繁栄にあやかって全国各地に「○

銀座」と名付けられた商店街が数多くできた（ウィキペディアによる）。戦前の東京の銀座は、全国の憧れだったようです。昭和十年の「徳山市街明細図」（マツノ書店復刻版）を見ると、幸町の東端に「銀座屋洋服店」というのが見えます。屋号だと思われます。「有楽街」があり「銀南街」も誕生したように、徳山では「○○街」という名称が戦前はポピュラーだったようです。戦後復興期に、新しく佐渡町+幸町の新町名を考えるとときに、「銀座」は最有力候補の一つだったと考えられます。表示体は、銀座中央街、みなみ銀座、銀座薬局、銀座ビルなど建物の表示多し。

「銀座」は全国にある最も愛されたビッグな東京地名。多くの都市や商店街の発展の力になりました。

全国の「銀座」町名は、北海道夕張郡、埼玉県熊谷市、本庄市、

富山市、長野県岡谷市、静岡市、熱海市、愛知県半田市、刈谷市、滋賀県彦根市、京都市伏見区、徳島市、北九州市戸畑区、宮崎県児湯郡。

○「糀町」（バス停、標識塔、糀町ビル、住所表示板）

江戸時代の徳山城下の絵図に「糀町」とあります。東京地名の「麴町」とは表記が異なります。

○有楽町（有楽町郵便局、有楽ホテル、住所表示版、電柱表示板）

戦前は、駅の西側表のほうが発展しており、旅館や飲食店が多く立ち並ぶ繁華街でした。♪楽しみの有る街」という意味で、「有楽街（ゆうらくがい）」として戦前より賑わいました。戦後の町名変更で、「街」↓「町」に変わりました。

有楽町郵便局があります。有楽ホテルは廃業していますが、側壁にホテル名が残存しています。

○「御幸通」〔青銅製の支柱（二柱）、住所表示板〕

町名が「御幸通」です。通り名もあります。東京は「銀座みゆき通り」。

戦後、昭和天皇は全国の戦災都市を視察し激励して廻られた。山口県御巡幸の最終日の昭和二十二年十二月五日、富田町の東洋曹達を視察ののち、徳山中央小学校の奉迎場において、引揚者、戦災者、遺族を慰問された。昭和天皇が行幸されたので名付けられた。

路側帯にある道路標識支柱が魅力的です。インスタ映えします。御幸通は県の管轄です。

「平成五年頃、周南市御幸通の主要地方道徳山停車場線の歩道整備事業において、道路標識支柱を設置しました。御幸通は駅前通りであることから、明治時代に山陽本線を走っていた英国ネルソン社製造の六二〇〇型機関車をモチーフにして道路標識支柱をデザインしました」（山口県周南総合庁舎周南土木建築事務所原田晃さん・新見節生さんの調べによる。二柱存在することもご指摘頂いた）。

六二〇〇型機関車は、一八九七年、一九〇〇年に英国

のネルソン社で製造されたもので、官設鉄道が輸入した蒸気機関車です。他社製の同型機をあわせて、明治四二年までに一三五両が輸入されました。明治時代後期を代表する旅客列車用機関車です。原設計を行なった会社の名を取って「ネルソン」と愛称されました。（ネット調べ）

○代々木通（代々木公園、ビル、住所表示板）

町名が「代々木通」です。通り名も存在します。東京は「代々木」（一丁目～五丁目）。「代々木通り」という通称名の通り名すら存在しません。（渋谷区役所都市計画課）  
徳山城下の通りに「代々小路（だいだい・しょうじ）」（文化五年（一八〇八）写「周防国都濃郡徳山繪図」。大正・昭和（戦前）の地図にも「代々小路」。現在の「代々木通」は代々木公園付近の県道下松新南陽線。戦前の代々小路は岡田原築港線に近いか。

この地にあつた代々小路という通りの「代々」を生かすため、新たに拡幅整備された通りが「代々木通」とされました。隣接地が戦後、公園として整備され、公園内

に戦災復興都市計画土地区画整理事業完成記念碑（昭和  
三五年 市長黒神直久）があります。

徳山の「代々木公園」の開設は昭和三七年（一九六二  
七月一二日。東京の「代々木公園」の開園は昭和四二年  
（一九六七）十月二十日で、なんと徳山のほうが先。東京  
の代々木公園以前は、戦前が陸軍練兵場、戦後は進駐軍  
兵舎、その後オリンピック選手村。

「代々木公園」（東口・北口・南口）、代々木公園駐車場、  
県道にかかる周南市駐車場案内板。他に代々木ビル、代々  
木薬局など、周囲の建物にたくさん見える。

### ○新宿通〔横断歩道橋、バス停、標識塔、住所表示板〕

町名が「新宿通」です。御幸通も代々木通も新宿通も  
徳山に現存します。通りを中心に向かい合った町並を町  
とする背割式が藩政時代より採用されている。

「新宿について、以前から南今宿、中今宿、上今宿と  
ありました。そして戦災復興で、国道が今宿地区を通過  
することになり、新しい通りが今宿地区を通過する

ので、〈新宿通〉と名づけられました。ちなみに僕の祖  
父は大正時代に今宿に土地を買いましたが、戦災復興で  
接収されました。当時の市長は長谷川藤七でした。今の  
セブンイレブンのある横断橋のあるところです。宅地の  
真ん中を国道が通りました。（矢野定さん 八〇歳）  
「新宿一丁目」「新宿三丁目」の上り下りのバス停あり  
（正確には「新宿通」。「新宿通り二丁目」（正確には「新宿通」  
の標識塔あり）。

\*標識塔は広告業者によって設置されたものであり、広告が付随  
する。住所表示より大きくしてはいけないという制約がある。

歩道橋の表示「周南市新宿」（両側面にあり）。映えます。

あい保育園新宿通、新宿ハイツ、新宿三丁目駐車場、西  
京銀行新宿通出張所など、建物に表示多し。

\*歩道橋の「新宿」について：（現在の下松新南陽線は、昭和  
五三年に国道二号から降格し県道となっているが、歩道橋は国道  
時代から設置されていた。歩道橋に記された「周南市新宿」につ  
いては、国道時代に「新宿」と記されていたものを徳山市等の合  
併の際に「周南市新宿」としたものであり、当該名称は交差点名

称である。通常、交差点名称は信号機の下部に設置されているが、この信号機は歩道橋に添架されているため、歩道橋自体に交差点名称を記している。なお、交差点名称については、公安委員会の所管となっている。(県庁前出者による)

### ○昭和通 (ステンレス製フットライト、住所表示板)

「各住民は、自分の住んでいる町名を生かしたいのが人情で、調整のつかない場合は、第三者に委ねた。(平和通) (昭和通) などの抽象的なもの」(小川宣「周南文化小史」(冊子)二〇一〇)

ステンレス製のフットライトが六ヶ所あり(一丁目T字路(二)・二丁目交差点(四))、「昭和通」「しょうわどおり」とプリントがあるのは四か所(各二)である。平成十年十二月に設置された。「(欄干のような頭は)当初ライトだったが、壊れたためステンレスで覆ったもの」(周南市道路課)

その他、昭和ビル、コンビニ昭和通店など見える。

〔第二グループ/産業発展期以降に誕生した新しい東京類似地名〕

### ○青山町 (昭和四一年七月一日住居表示登録)

〔青山交差点標識。バス停。青山公園。住所表示板〕

「日刊新周南」の記事が出た直後に、元青山町在住の永野さんよりお便りを頂いた。このたびは全文を紹介し、町名誕生の自治会のリアルな対応や息遣いを感じ取ってもらいたいと思います。貴重な証言です。永野様に感謝申し上げます。

〈私は戦後、昭和22年から45年頃まで遠石四丁目から青山町に名前が変わった場所に住んでいました。高校生の頃だったと思いますが、当時町内会の役員だった母から聞いた話を覚えています。そのころ区画整理で、遠石四丁目の一部(遠石小学校の西側の道から)と丸山町が一緒になり、遠石小学校から東側は遠石一丁目となり、町名の「遠石四丁目」は無くなりました。そこで町名を新しく変えることになり、役員会が開かれ、考えることになりました。ある男の人が「この地区はもともとの住

民より、戦後新しく住み着いた人が多い。ここに骨を埋めるつもりで、僧月性の詩から青山町とつけるのはどうか」と言われ、皆がそれはいいと賛同したという話でした。

母が帰ってきて「町名が青山（あおやま）町になったよ」と言ったとき、私は「えー、また東京の真似？」と言い返しました。当時から東京の地名が多いと思っていたのでしよう。「違うよ。これは僧月性の『人間到处青山あり』から来ていて、この町内にも学識のある方がおられたのよ」と感心していたのを記憶しています。遠石四丁目の人でなく、丸山町の自治会長さんのようでした。周南合併で、新南陽にも丸山町があることを知り、やはり円山町でなく、青山町でよかったと思ったこともありました。

余談ですが、NHKテレビの番組で、ボサノバ歌手小野リサさんが全国県の歌の中で山口県周南市を：月代々木、原宿、有楽町と歌っておられるのを聞いたことがあり、まあ注目されて歌にでもなればいいかなと楽観的

に見た私がいまいました。

僧月性はご存じとは思いますが、玖珂郡大島町遠崎妙円寺の生まれで、萩の吉田松陰とも深い交流のあった維新の先覚者であり、山口県民としてもっと知られてもいい人物と思います。

「立志出郷関の詩」天保十四年八月 月性二十七才

男児立志出郷関 学若無成死不還

埋骨豈惟墳墓地 人間到处有青山

（永野節子さん 七二歳）

町名「青山」誕生のいきさつが、臨場感を持って綴られています。昭和四十年代にはすでに徳山市民には都市伝説真っ只中であることが判ります。

月性作と伝わる漢詩は、「男子たる者、志を立てて故郷を出たならば、学業が成るまで励もう。故郷に帰れなくても、墓となるべき青く美しい山はどこにでもあるのだから」という意味です。

また、全国的な歌手がとり上げるくらいですから、（徳



山の東京地名」は全国レベルに何だコレ!? ミステリーなのだと思います。

○千代田町(昭和四二年三月一日住居表示登録)(住所表示板)

かつて「西船町」(にしふねまち)。昭和四二年に「千代田町」に替わった。根性のローラー作戦で、ついに突き止めた！ 生々しい町命名名時の自治会のリアルな証言である。

「一級上の故徳永恒昭自治会長が『徳山は東京地名が多いし、「千代田」でいいんじゃないか』ということでした。そうなった。ちなみにわたしがその時の副会長」(三牧利行さん(八六歳))

ありふれた祥名として候補にあがったと思うが、都市伝説が後押しした。

千代田ハイツ、ロワイヤル千代田町など、マンション名は、新宿、原宿、青山等、東京地名ブランドに寄せていつている(都市伝説にあやかっている)ような気がする。

○「晴海ふ頭」(「晴海町」昭和四二年三月一日住居表示登録)

〔道路案内標識板「晴海埠頭」、晴海公園、徳山下松港晴海埠頭休息所〕

「晴海町」のふ頭名。平成二六年より「晴海埠頭」と漢字表記になった。

〈この辺りの海は「鼓海」と呼ばれており、それをもとに印象のよい「晴」を選んだ〉という小川宣会長の解説ですが、毎日新聞社徳山支局長(共に当時)の橋詰隆康氏が東京地名起源説を唱えていた。

「らしくない名が増えたのは、震災復興区画整理によるもの。全国でも名古屋に次ぐ成功例とされる、思い切った都市計画の産物だ。当時、焼土の上の町づくりに、新生の意気に燃えていたのだろうし、晴海ふ頭などは、徳山港が特定重要港湾に指定された際の、あやかりムードの落とし子だという。(昭和五六年四月二三日記)」「(周防点描)徳山公論社 昭和五八年十月一日発行)

徳山港が特定重要港湾に指定された際、晴海ふ頭は、東京地名にあやかっけて付けられたそうだが、というのが橋詰氏の情報です。『徳山市史 下』(昭和六十年発刊)によ

ると、昭和三九年に建設計画がまとまります。この時すでに存在している「浜崎ふ頭」が沖に延長される計画です。四一年四月一日に徳山港は特定重要港湾に指定されます。(「晴海町」は四二年三月一日に住所登録されています)四二年より、「晴海ふ頭」の建設に着手されます。四三年七月の港湾審議会では、すでに「晴海」という名が「浜崎」に替わって使われているようです(「晴海岸壁」)。

山口県周南港湾管理事務所施設課長の辻島雄二氏は、「まず、徳山港が特定重要港湾に指定されたのは昭和四〇年で、これは何度も確認したので間違いない。(『市史』は)県庁に確認して正確に記述してはしなかった。そもそもふ頭名は付けない。港湾地図にも記載がないのは見ての通りである。計画書に浜崎ふ頭とあってもそれは通称名であって、晴海ふ頭も同様で、我々は浜崎地先という言い方をしている。ふ頭名が先で町名が後というのは考えにくいし、この時点(昭和四十年)で、ふ頭が完成していないのにふ頭名が付くこともおかしい」と橋詰説を否定された。

橋詰氏が断定していないところに、信ぴょう性が気にはなっていた。交通標識の「晴海埠頭」は通称名であり、公式なのは「晴海町」のみである。「晴海公園」は昭和四六年に完成した(公園都市計画書による)周南市役所公園花とみどり課)。

○田園調布(昭和四四年七月一日自治会登録)

(自治会名表示物ナシ)

二年前に、(株)トクヤマの広報に問い合わせて「西千代田に二棟の社宅(トクヤマ中開作アパート)があり、昭和四十年と四一年に建てられました。自治会名称は田園調布です。名付けた当時のいきさつについては資料が残っておらず、また古株の社員にも伝わってはおりません。」と回答を頂いていた。それでも、わたしはあきらめきれず、代表取締役社長に「あきらめられません。わたしにはもう(株)トクヤマさんに頼るしかないのです。再調査をお願いできませんか」と直訴しました。徳山製造所の安達秀樹所長がそれに応じてくださった。広報課、

人事課などからなるプロジェクトチーム（青木徹、藤原直樹、田村隆嘉、乙黒和也―敬称略）が形成され、大ごとになっていた。後日、安達所長より同社の会議室にて説明をうけた。二〇ページ近い調査結果報告書でした。報告書は周到、徹底したもので、企業の力を見せつけられた気がしました。簡略にご紹介します。

①昭和三四年から四二年の『社史』には、福利厚生施設として、中開作アパートが記載されている（資料二）。そこには住所として、「南陽町富田田園調布」と記載がある。「中開作字田園調布」という史料も存在する。『南陽町史』『新南陽市史』には、「田園調布」命名の由来は見当たらない。

②中開作アパート建設当時の社報「とくそう（昭和三九年九月号）」（西村注：当時は徳山曹達（株）に「中開作アパート建設始まる」の記事がある（資料三）。建設から三年間の社内報を確認したが、田園調布の命名由来などは見つからなかった。

③田園調布自治会が誕生した時の南陽町の広報誌（昭和

四十年五月号）に、昭和四十年度の自治会名があり、五月から富田地区に「田園調布」という自治会が結成されたとあり、自治会長は岩倉克有とある（資料四）。

④当時のアパート建設予定地周辺は、田園風景が広がっている（資料五）。（西村注：資料五は昭和三八年当時の中開作の風景写真である）

⑤昭和四十年当時の住宅地図（資料六）から、中開作アパートの入居者が確認された。人事グループの調査の結果、八名のOBが存命であり、手紙（資料七）にて当時の記憶を追ってもらった。【対象者：八名 回答者：四名】残念ながら、初代自治会長であった岩倉克有氏はすでに逝去されていた。

⑥（当時の入居者四人の話を総合すると、以下のとおり―西村）初代の自治会長は、一階の山陽線近くに住んでおられた東京出身の岩倉さんです。昭和四十年四月に新築されたアパートに入居して第一回目か二回目の自治会の集会で、会社の方から「まだこの地区の名前がないので、皆さんで話し合って地区名を決めて下さい」との依頼があ

りました。自治会長が行政に、自治会名などの意向を伺うと、自由に名付けてもよいとのことでした。そこで同僚の嶋田智己さんから「思い切って全国的に有名な田園調布にしたらどうか」と提案がありました。「余りにも名前負けするのではないか」との意見も出しましたが、「まあ思い切ってこれにしようか」という事ですんなりと決定した次第です。アパートの周辺は川沿いを除いて全面田んぼでした。徳山には当時から有楽町、代々木公園など東京由来の町名が多くあり、「田園調布」と名づけることに抵抗はなかったと思います。

千代田町と同じく、徳山の都市伝説がブッシュしている。田園調布自治会は株トクヤマの社宅の敷地内のみからなり、住居表示物も住所表示もなく、地図上にも「田園調布」という表記があるだけです。

\*表示物がなく気落ちする私に、株トクヤマさんより「田園調布自治会」会則書と「田園調布自治会」預金通帳を見せてもらった。

### ○「原宿町」(昭和五六年三月住居表示登録)

〔電柱広告(中国電力)「原宿町」、住所表示板〕

この辺りは田んぼや畑でしたが、復興事業で宅地が造成されました。岡田原と今宿の間にできた新しいまちは「原」と「宿」をとって「原宿町」と命名された合成地名です。徳山では、ポピュラーな手法です。今宿+住吉↓今住町、松原町+佐保町↓「松保町」

「今宿」は戦国時代末期の古文書に出てくる古い地名で、今でも残っていますし、岡田町には岡田原自治会館や岡田原公園があります。

原宿ハイツ、○原宿などのアパートなど有。

橋詰隆康さんの前掲書は、自治会や市の担当者が苦勞して町名を生み出したことを報告しています。行政主導ではなく、自治体が諸事情を考慮して決めています。

〈その由来を徳山市都市計画課に聞くと、河野宏課長は「実は、地元が苦心の末につけたもので」といささか困惑気味。どんな名を、と住居表示審議会に諮問し、白紙委任を受けた審議会も地元自治会長中心の小委員会に

下駄を預けた形で、地元が一年近く論議を重ねた結果だった。結局、旧町名の岡田原、卯の手、今宿のうち、二文字を合成したものに落ち着いたのだが、実は市内には通称名まで含めて五百もの町名があり、新町名を考えるのは難しい。途中、末広町<sup>ウツノ</sup>などが出たが、すでに先輩があつてダメになつたというから、地元の苦心がしのばれる。続いて来年度はまた次の区画整理が終わり、新しい表示が必要になるのだが、この分ではまた新町名づくりが難航しそうだと担当者たちは浮かぬ顔だ。だが、地名というのは、どんな名であれ、人間の歴史が隠され、先人の息吹が聞こえる。極力守るべきものだろう。

○「(西) 千代田町」(昭和五八年十月十一日「千代田町」住居表示登録)(住所表示板)

富田中開作↓昭和五八年十月に「千代田町」と住居表示登録。平成十五年四月二一日の新南陽市と徳山市の合併に伴い、市役所の指導のもと「西千代田町」に変更。

「わたしがここに来た頃は、まだ四軒しかなかった。徳

曹の四階建ての建物はまだ建ってなかった。二十軒くらいになつた頃、役所といろいろと話し合っていくつか候補があつたうちでこれがええんじやなろうかというこゝとで決まつたと思う。合併するまで、徳山にもあるとは知らなかった」(能美文治さん 九六歳)

徳山の千代田町の三牧さんも、合併まで隣(新南陽市)に同じ町名があるとは知らなかったと言っている。「千代田はポピュラーなありふれた瑞祥地名である」という従来の説明で良いと思う。末長く続くようにという思いを込めたものだ。原宿町で候補に挙がつた末広町も繁栄の思いを込めた同様な発想であろう。

その他、「横浜」(明治時代より存在が確認できる地名)：住所表示板。電柱番号。横浜緑地。横浜大師堂。「川崎」

(鎌倉時代より存在が確認できる地名)：住所表示板。川崎観音堂(一一八五年創建伝)。「上野」(江戸時代より存在が確認できる地名)：バス停。上野八幡宮(和銅二年創建伝)。「五

反田」(明治時代より確認のできる字名)：五反田集会所(福



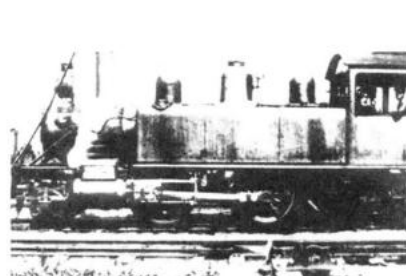
徳山駅から小学校迄行幸された



徳山市制記念「銀座街」がみえる



2019.10.10 日刊新周南 1・2 面



山陽鉄道 1号機関車



イベントが読売新聞に  
採りあげられる



例会とセットで催したイベント



調査結果を説明する榎トクヤマ安達所長



2019.10.5 例会



2019.7.3 放映  
「世界の何だコレ!? ミステリー」



昭和 38 年 (1963) 6 月 14 日撮影 中間作アパート建設予定地 (後の田園調布自治会) 界限

川)。

## 徳山の東京地名めぐり

二〇一九年十月五日の例会とセット企画として、ウォーキングイベント「徳山の東京地名を歩こう」を開催しました(福水隆(周南市ボランティアガイド)・大島進(山陽道を歩こう会)・広林真理子(下松地方史研究会事務局長)がスタッフとしてサポートした)。この時の様子は、読売新聞にカラーで紹介してもらった。

徳山の東京類似地名の町名の表示体にはけっこうユニークなものが存在することに気づきました。駅前図書館前に集合して「の」の字にまわって、新幹線口に戻って来るコースです。周南市の新しいアピールである駅前図書館や新庁舎などもチェックポイントとしました。「徳山の東京地名めぐりマップ」を完成させましたので、入手されたい方は、アピール三階の市民活動支援センターや周南市役所観光政策課にお問い合わせください。

## 総括く都市伝説と共存する智慧

徳山の東京類似地名の研究において、ほぼ完全に近いくらいに迫れたと思います。市民の皆様のご貴重な証言や情報提供、各郷土史会、各公共機関、地元企業の協力、また地元の新聞社さんに後押ししてもらって、ここまで結果を出すことができました。研究発表と論稿(会誌)をもって、みな様へのお礼に替えさせて頂きたいと思えます。地元の郷土史会として、「徳山の東京地名」研究の最前線(最高のもの)を提示できたと自負しています。やつと総括できるステージに達しました。

昭和二十年代の終わりから三十年代の前半にかけて戦後復興の都市計画の中で誕生した第一世代ともいえる東京類似地名も、そのほとんどが徳山生まれです。東京とは関係がありません。しかし、「徳山は戦後復興において東京にあやかっただけで東京の町名を付けた」という都市伝説はすでに第一世代で成立しており、産業発展期の第二世代には、すでに「あつ、またか」とか、節操のない中央志向を皮肉るような言動も出て、東京地名を嫌厭する傾向が出ています。「徳山は東京地名が多いねえ」と言

われる方に、「例えばどんな町名がありますか?」と聞くと、戦後復興地名ではだいたい四つしか挙がりません。銀座、新宿、有楽町、代々木公園です。この四つのコンビネーションは強烈なインパクトを放っているようで、この四つだけで都市伝説が成立したと言っても過言ではありません。わたしは「徳山の東京地名の四天王」と呼んでいます。戦後の徳山はスタート時点においてすでに「リトル東京」という命運を背負っていました。

現在の時空制限がなくなった肥大化した都市伝説においても、純粹な東京地名というものは、「銀座」ただ一つだけと言っても過言ではありません(田園調布は自治会名。しかも特殊な環境。銀座は番外の全国級)。つまり、徳山に「東京地名」は存在しなかった。単純に、勘違い。そう見えただけ!

前号ではわたしは都市伝説から「一歩踏み出してほしい」とみなさんに希望を述べましたが、今回は、ゴールまで一気にかけ抜けてほしいと希望します。そして、啓蒙のお手伝いをしてもらいたい。周りの人にも積極的に

教えてあげてほしいのです。

さらなる考察として、原宿のように町名が決まるのに一年を要したものもあるが、ある人が提案してそれに役員が賛同してすんなり決まったケースが多い(青山・徳山千代田・田園調布)ことも確認できました。

全国のツイート(バクツたでしよ)やその路線で行こうとした東京のメディアに大いに触発されました。周南市の言われなき中傷や自身の悪しき因習を払拭し改め、啓蒙してゆこうという目的でスタートしたのですが、今は、時代に対応した柔軟な対応が必要だと考えています。これだけ東京類似地名が集まったという奇跡と幸運を、後世に遺してもらった周南市の財産として再発見し、市民の皆さんや全国の多くのファン?たちと共に愛していきたいと思っています。

もちろん調査研究はこれからも継続します。どうか皆様の情報の提供や、ご指摘・ご教示のほどを宜しくお願ひします。





徳山有楽町郵便局



代々木公園東門



靴災復興都市計画事業記念碑



新宿歩道橋



新宿三丁目バス停



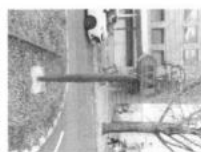
新宿通り2丁目標識塔



原宿町電柱広告



御幸通道路標識柱北



御幸通道路標識柱南



御幸通鉄道サイン



銀座バス停



六本木バス停



六本木タワーとビル



秋葉原フラットライト



上野フラットライト



「秋葉原」道路案内標識



秋葉原駅



秋葉原公園



「秋葉原」バス停



「秋葉原」交差点道路標識



- 徳山駅→①青葉町郵便局 5分→②代々木公園 5分→③新宿歩道橋 15分→④新宿通 3丁目/AX停 5分→⑤新宿2丁目住所標識 1.0分→⑥原宿町電柱広告表示 15分→岡南市市役所 20分

## 徳山の東京地名

めぐり

- ⑦御幸通オオサイエ 5分→⑧「銀座」バス停 1.0分→⑨「桜町」バス停 5分→⑩昭和通「オオサイエ」1.0分→⑪晴海公園前「晴海埠頭」交通案内表示板 1.5分→⑫千代田町住所表示板 1.0分→徳山駅

「山」標識は歩いて5分以内